

平成21事業年度

決算報告書

自：平成21年4月 1日

至：平成22年3月31日

国立大学法人岡山大学

平成21年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,767	18,522	△ 244	(注1)
施設整備費補助金	1,731	2,712	981	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	518	2,637	2,119	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	82	82	0	
自己収入	30,806	32,049	1,243	
授業料、入学料及び検定料収入	7,814	7,777	△ 36	
附属病院収入	22,656	23,842	1,186	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	336	429	93	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,900	4,402	502	(注6)
引当金取崩	250	205	△ 44	(注7)
長期借入金	478	398	△ 79	(注8)
貸付回収金	2	2	0	
承継剰余金	25	15	△ 10	(注9)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	400	638	238	(注10)
計	56,959	61,667	4,708	
支出				
業務費	46,432	46,413	△ 18	
教育研究経費	22,889	21,829	△ 1,059	(注11)
診療経費	23,543	24,583	1,040	(注12)
一般管理費	1,399	1,443	44	
施設整備費	2,291	3,250	959	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	518	2,637	2,119	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,894	4,001	107	(注15)
貸付金	8	8	0	
長期借入金償還金	2,417	2,442	25	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	56,959	60,197	3,238	
収入-支出	0	1,470	1,470	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額662百万円を含んでいたが、使用額が418百万円であったため、予算額に比して決算額が244百万円少額となっています。

(注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階では予定していなかった、国からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が981百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった、国からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が2,119百万円多額となっています。

(注4) 附属病院収入については、手術件数(高度医療等)の増加等により、予算額に比して決算額が1,186百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、主として預金利息収入等により、予算額に比して決算額が93百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の増加等により、予算額に比して決算額が502百万円多額となっています。

(注7) 引当金取崩については、人件費削減による決算額の減少等により、予算額に比して決算額が44百万円少額となっています。

(注8) 長期借入金については、予算段階では予定していなかった、借入不用額が発生したため、予算額に比して決算額が79百万円少額となっています。

(注9) 承継剰余金については、予算段階で予定していた支払額に満たなかったため、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。

(注10) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を計画したため、予算額に比して決算額が238百万円多額となっています。

(注11) 教育研究経費については、人件費削減、退職給付の予算額に対する減少等により、予算額に比して決算額が1,059百万円少額となっています。

(注12) (注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,040百万円多額となっています。

(注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が959百万円多額となっています。

(注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,119百万円多額となっています。

(注15) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が107百万円多額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。